

第77回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時 平成13年12月14日(木) 13:30~16:30  
 場所 八重洲センタービル会議室  
 出席者 委員長 海老原(武蔵工大)  
 委員 小豆澤(東芝), 苅田(神鋼電機), 中川(国土交通省),  
 福井(東京電機大:代理 増澤), 牧(東海大), 村本(東洋電機),  
 山田(金沢大), 渡辺(FDK)  
 幹事 大崎(東京大), 北野(JR東海)  
 幹事補佐 水野(信州大:代理 小林) 12名

提出資料

- 77-1 第76回リニアドライブ技術委員会議事録案 村井補佐
- 77-2 産業応用部門研究調査運営委員会(12/4) 海老原委員長
- 77-3 第1回産業応用フォーラム管理委員会議事録 牧委員
- 77-4 マグネティクス・リニアドライブ合同研究会(富山大学)の報告 山田委員
- 77-5 リニアドライブ研究会論文投稿のお願い TLP委員会
- 77-6 第14回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム講演募集 北野幹事
- 77-7 電気学会技術報告第846号 リニア搬送システムの高機能化技術 TLP委員会
- 77-8 平成13年度各委員会予定一覧表 村井補佐
- 77-9 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール(案) 水野補佐
- 77-10 委員会構成員変更届 委員長
- 77-11 平成14年度リニアドライブ技術委員会開催日程案 大崎幹事
- 77-12 平成14年電気学会D部門大会のシンポジウムテーマ提案の件 大崎幹事
- 77-13 平成13年優秀論文発表A候補 北野幹事
- 77-14 磁気浮上系における連成問題調査専門委員会解散報告書案 引原委員
- 77-15 リニアドライブシステムの連成解析手法調査専門委員会  
解散報告書(案) 山田委員
- 77-16 磁気浮上・磁気支持応用機器におけるダイナミクス調査専門委員会  
設置趣意書案 村井補佐
- 77-17 リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会設置趣意書(案) 山田委員
- 77-18 多次元ドライブシステム調査専門委員会設置趣意書(案) 海老原委員長
- 77-19 汎用リニアドライブにおけるサーボ制御とセンサ技術調査専門委員会  
(SEL)活動報告 渡辺委員
- 77-20 産業用リニア駆動システムの評価技術調査専門委員会(TLP)活動報告 水野補佐
- 77-21 超電導磁気浮上式鉄道の高性能化技術調査専門委員会(SLD)活動報告 北野幹事
- 77-22 医用電磁駆動システム産業化促進協同研究委員会(ECD)活動報告 福井委員
- 77-23 第1回汎用リニアドライブにおけるサーボ制御とセンサ技術  
調査専門委員会議事録 渡辺委員
- 77-24 第9回リニアドライブシステムの連成解析手法調査専門委員会議事録 山田委員
- 77-25 第3回リニア駆動システムの評価技術調査専門委員会議事録 水野補佐
- 77-26 第6回超電導磁気浮上式鉄道の高性能化技術調査専門委員会議事録 北野幹事
- 77-27 第2回医用電磁駆動システム産業化促進協同研究委員会議事録 福井委員
- 77-28 第3回医用電磁駆動システム産業化促進協同研究委員会議事録 福井委員
- 77-29 公開シンポジウム 「21世紀高度先端医療を担う人工心臓」  
-国産埋め込み型人工心臓の実用化に向けて- 福井委員

議事

1. 議事録確認

資料77-1を用いて議事録確認を行い、以下を修正・削除の上承認された。

- (1) 2.6「78-8」を「76-8」に修正。
- (2) 資料77-19および~~77-20~~ (議事録)の「(案)」を削除。

## 2. 報告事項

- 2.1 資料 77-2 を用いて海老原委員長から運営委員会の報告があった。研究会補助金に対して領収書の添付を義務付けられることなどに関して議論があり、基本的には事前に会場費やアルバイト代など必要経費を想定・申請し、実費請求していくこととした。
- 2.2 資料 77-3 を用いて牧委員より第 2 回産業応用フォーラム推進委員会の報告があった。本技術委員会関連では SLD 委員会で 9 月に開催済みのほか、3 月末開催を準備中である。
- 2.3 資料 77-4 を用いて山田委員よりマグネティクスとの合同研究会の報告があった。
- 2.4 資料 77-5 を用いて小林代理よりリニアドライブ研究会の開催案内と発表募集があった。
- 2.5 資料 77-6 を用いて北野幹事より「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウムの開催期間および開催場所が変更になったことが報告された。
- 2.6 資料 77-7 を用いて小林代理より技術報告発刊の紹介があった。
- 2.7 資料 77-8 および資料 77-11 を用いて各委員会の開催予定を確認・審議し、技術委員会の開催日程を、4 月 26 日（金）、7 月 12 日（金）、10 月 11 日（金）、12 月 6 日（金）、平成 15 年 2 月 7 日（金）と決定した。また、以下の修正、追加があった。
  - (1) 電磁力シンポ（岡山）は 5/30～6/1 から 5/22～24 に変更。
  - (2) ECD12/5 は 12/3 に開催済み。
  - (3) TLP2/22 は 2 月の欄に移動。
- 2.8 資料 77-9 を用いて資料提出スケジュールの確認があった。

## 3. 審議事項

- 3.1 資料 77-10 を用いて海老原委員長より委員変更の説明があり承認された。
- 3.2 資料 77-12 を用いて大崎幹事より D 部門大会のシンポジウムテーマ提案について説明があり、全国大会のシンポジウムテーマとしてすでに SEL 委員会から提案のあった「リニアドライブのサーボ制御とセンサ技術」を提案することとなった。
- 3.3 資料 77-13 を用いて北野幹事より平成 13 年優秀論文発表賞 A 候補について説明があった。1 位は最高得点の長谷川裕也氏（松下電工）、2 位は、発表件数、国際シンポジウムへの貢献等を勘案して、Robert Early 氏を推薦することとした。
- 3.4 資料 77-14 を用いて大崎幹事より「磁気浮上系における連成問題調査専門委員会解散報告書案」が説明された。下記修正の上承認された。
  - (1) 「xx 件」は「〇〇現在 xx 件」と数値を確定する。
  - (2) 「インターネット上にホームページ・・・」は、対象が限定できるよう表現を工夫する。
  - (3) 報告時期は 12 月では遅いので 10 月とする。
  - (4) 下から二行目「における応用機器」は重複しているので削除する。
- 3.5 資料 77-15 を用いて山田委員より「リニアドライブシステムの連成解析手法調査専門委員会」解散報告書（案）が説明された。電子メールで最終確認後、運営委員会に間に合うよう提出することとなった。
  - (1) 1. 解散の趣旨：解散時期「平成 13 年 3 月」を「平成 14 年 3 月」に修正。
  - (2) 3. 調査報告期限：技術報告を作成する。
  - (3) 4. 今後の課題：「本技術委員会」を「本調査専門委員会」に修正。
- 3.6 資料 77-16 を用いて大崎幹事より「磁気浮上・磁気支持におけるダイナミクス調査専門委員会設置趣意書案」が説明された。タイトル等の「磁気浮上」の必要性について議論があり、第 2 案の課題となった。
- 3.7 資料 77-17 を用いて山田委員より「リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会設置趣意書（案）」の説明があり、報告書形態を明確にした上で、電子メールで最終確認後、運営委員会に間に合うよう提出することとなった。
- 3.8 資料 77-18 を用いて海老原委員長より「多次元ドライブシステム調査専門委員会設置趣意書（案）」の説明があり、報告書形態を明確にした上で、電子メールで最終確認後、運営委員会に間に合うよう提出することとなった。

## 4. 各調査専門委員会報告

資料 77-19 から 77-29 を用いて各調査専門委員会から活動報告があった。

以上